

長岡市・川口町合併基本計画の概要

◆ 計画の趣旨

長岡市・川口町合併基本計画は、長岡市と川口町の合併に際し、新市の円滑な運営を確保し、均衡ある発展を図るための基本的な指針として策定するもので、新市の一体性の確立と住民の福祉の向上等を図るまちづくりの方針や施策の方向を示すものです。

◆ 計画の期間

合併施行の日から平成 27 年度までのおおむね 6 年間とします。

◆ 計画の対象区域

原則として川口町の区域が対象です。ただし、長岡市の区域においても新市の一体化の促進や円滑な運営の確保に有効である事業は対象とします。

◆ 合併の必要性

- (1) 「40 万人都市構想」の推進
- (2) 地方分権に対応した行財政基盤の強化
- (3) 日常生活圏と行政区域の一体化
- (4) 広域的な視点に立ったまちづくり

◆ 合併の効果

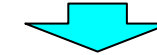
- (1) 財政の節減効果
特別職の廃止や議員、職員の削減による人件費の節減が可能
- (2) 行政サービスの効果
住民サービス窓口の増加、サービス水準の向上により、利便性が向上
- (3) まちづくりにおける効果
 - ①川口町の地域資源による長岡市の魅力向上
 - ②創造的復興の一体的な推進
 - ③震災を乗り越えた市民力・地域力による市民協働のまちづくりの推進

◆ まちづくりの基本方針

新市においても、長岡市総合計画に定めた将来像とまちづくり戦略、政策を基本とし、その上で川口地域を含む 11 地域の地域資源や特性を踏まえた一体的なまちづくりを展開するものとします。

(1) 川口地域の将来像

- ・温泉や宿泊施設、スポーツ・レクリエーション施設など、川口町運動公園の施設が自然環境と調和し、やすらぎの交流空間を創り出しています。
- ・中越大震災を住民相互の「きずな」で乗り越えた、力強い住民力と強固な地域力がまちづくりの原動力となっています。



川口地域の将来像

震災により深まった人と地域の「きずな」で未来を創る、
自然と親しみ、心やすらぐ地域

(2) 川口地域の地域づくり戦略

①「地域力を高める住民自治の形成」

行政主導の地域づくりから、住民と行政の協働による地域づくりへの転換を目指し、住民でできることは住民の手で、住民だけでできないものは行政との協働で地域づくりを進めるとともに、地域の防災力の向上に努めます。

②「農業・農村を基軸とした地域経済循環の構築」

付加価値の高い農業に転換する 6 次産業化を進め、産業間の交流により人、モノ、お金が循環する地域経済循環の仕組みを構築します。

③「集落主体の体験型交流の仕組みづくり」

首都圏などへの交流情報の発信をはじめ、集落における受入体制や体験プログラムの整備など、交流の仕組みづくりを推進します。

◆ まちづくりの施策

新市の一体化の促進や円滑な運営の確保に有効な各分野の主要事業を掲載

◆ 財政計画

合併後の平成 22 年度から 27 年度までの 6 年間について、普通会計ベースの財政状況を推計したものです。

歳入・歳出の項目ごとに過去の実績などをもとに、行財政制度や経済社会状況を勘案しながら一定の条件により試算したもので、合併による歳出の削減効果やサービス水準の調整のための経費などを反映させ、新市における財政運営の目安として策定しました。

歳入・歳出ともに 6 年間の合計で 7,891 億円と試算しています。